

第2学年2組 美術科学習指導案

1 題材名 「三国中のピクトグラムをつくろう」

2 指導観

○ 私たちの社会生活の中では、多くの情報伝達手段が存在している。その中でもピクトグラムは、単純な形と色彩の効果を生かしたデザインにより情報を的確に、また違う言語を使う人々へも直感的に伝えることができる視覚的記号の1つである。そのため、動物園などでの場所の表示・大型商業施設やホテル等の非常口の誘導を示す緊急的な物・危険箇所を示す物など、目的に応じて社会生活の様々な場所で幅広く利用されている。

2年生では、1年生での色彩の学習をもとに、形や色彩に対する理解を深めることや「伝える」「使う」という目的・機能を考えたデザインの表現を深めていく。ピクトグラムの制作は、テーマ（「誰に」「何を」伝えるのか）を考え、形や色彩の効果をもとに分かりやすさや美しさを考え構想を練り表現する。また、使用する側の気持ちや機能など造形的な美しさについても考え作品の構想を練ることが必要である。これらのことから、ピクトグラムの制作は形や色彩をもとに目的・機能を考えたデザインの表現を深め、ピクトグラムが社会生活で広く活用され役立っている点から意義あることと考える。

○ 本学級(38名)の生徒は、1年生で色について(色の三要素や色相環、色の感情など)学習している。2年生1学期の期末考査において、その復習問題の正解率が平均70%を越え、基本的な知識が身についている。しかし、作品制作において、「涼しさ」を寒色系の色を利用し表現した生徒が4割程度、三原色を使ったスケッチでは混色方法で色相環を利用できない生徒が多く、色彩の特性を活用できていない状況があった。

生徒の事前アンケートで、ピクトグラムという言葉は知らないが、非常口のサインや車いすのサインの意味は知っていた(100%)。また、公共施設でトイレを探す手段としてほとんどの生徒がトイレのピクトグラムを利用している主旨の解答があった。さらに、ポストや消防車は赤・交通標識で赤は禁止・〇〇店の看板は青と緑など日常生活のなかで視覚的に色から情報を得たり内容を判断したりしている。このように、多くのピクトグラムを生徒は日常的なものとして利用している。

○ 本単元の指導においては、様々なピクトグラムを紹介し、それぞれが情報を伝えるために目的や条件に適した表現となっていることに気付かせ、ピクトグラムへの興味・関心を高めさせる。そして、その作品を制作することで、情報を伝えるために形や色彩の効果を生かしわかりやすく美しい作品の構想を練らせる。最後にお互いの作品を交流し、日常生活の「伝える」「使う」などの目的や機能において、形や色彩の効果が役立っていることを理解させたい。そのためにまず、第一次では、ピクトグラムに関する課題を設定することができるように見たことのないピクトグラムを示し、その内容を考えさせる。第二次では学習課題を解決するために、学校生活をもとにしたピクトグラムを作成する。そこで伝えたい目的に応じて形や色彩の特徴を工夫し美しい作品を制作できるようにする。その際、学びの足跡を残すために、振り返りシートを活用し、毎時間振り返り(小さな振り返り活動)行う。第三次では、それぞれの作品のテーマに応じた形や色の美しさを味わうことができるように小集団交流の場を設定する。また、参考作品を掲示し、そのデザインの意味や内容を形や色の視点から考えさせることで、ピクトグラムが実際の社会生活の中で広く活用され役立っていることに気付かせる。そして、単元を貫く課題に対する最終的な結論づける活動を行う。最後に、単元全体を通して自己の学びの変容を認識できるように、文章分析シートを用いて学習全体を振り返る時間を設定する(大きな振り返り活動)。

3 目標

○ 生活の中のピクトグラムのデザインに関心を持ち、その目的や条件に適した表現の工夫などを感じ取ろうとしている。【関心・意欲・態度】

○ 伝えたい内容を瞬時に正確に伝えるために、形や色彩などの効果を生かしてわかりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練ることができる。【発想・構想】

○ 描画材料の特性を生かし、表現意図に応じて表現方法や手順など考え見通しをもって表現することができる。【創造的な技能】

○ 作品のよさや美しさを感じ取り、伝達の視点から生活を豊かにする美術の働きを理解することができる。【鑑賞】

次	時	学習活動・内容	指導のねらい・内容・方法	評価規準(観点：方法)
一	1 ①	1 ピクトグラムについて課題を確認する。 (1)ピクトグラムの内容・役割について想起する。 (2)単元を貫く課題を確認する。 ピクトグラムについて理解し作品制作することで、その形や色が効果的に使われていることに気付こう。	生活の中のピクトグラムについて課題を設定することができるようにする。 ・ピクトグラムについて学習課題を設定することができるように、既有知識を用いて課題について考える活動を設定する。	・ピクトグラムについて関心をもち、意欲的に課題解決をはかろうとしている。 (関：様相観察・学習プリント)
二	1 ③ 2 ③	2 学校生活のピクトグラムを作成する。 【小さな振り返り】 (1)伝えたいテーマを決める。 (2)アイデアスケッチを作成する。(形や配色) (3)アイデアスケッチの交流会をし、作品の見直しをする。 (4)下絵を描く。 (5)彩色する。 (6)作品の内容をまとめる。	学校生活に於いて、周囲の人に伝えたい内容をもとにピクトグラムを制作することができるようにする。 ・テーマを設定しやすいように、伝えたい内容の種類(場所、注意、警告等)から考えさせる。 ・自分の考えをまとめ、表現しやすいように、形や配色の例を示す。 ・作品の制作意図を整理し、アイデアスケッチを深めることができるようにするために、形と色彩を視点(共通事項)に交流活動を設定する。 ・思い通りの作品を制作できるように、用具の使い方や着色法などを振り返る場を設定する。 ・毎時間の学習内容を確認することができるように、振り返りシートを用いて小さな振り返り活動を行う。	・学校生活をテーマに作品のアイデアスケッチを制作することができる。(発、技：アイデアスケッチ) ・アイデアスケッチの交流会を基に作品の見直しをすることができる。(発：様相観察、アイデアスケッチ) ・表現意図に応じて、用具の特性を生かして作品を制作することができる。(技：作品、様相観察)
三(本時1/1)	1 ①	3 作品を鑑賞し、ピクトグラムについてまとめる。 (1)作品の交流会をする。 (2)感想を書く。 (3)ピクトグラムの目的や役割について参考作品をもとに考察し、結論づける。 ピクトグラムは、内容や目的に応じて形や色で情報を美しく伝えるものであり、案内図や緊急避難図など幅広く社会生活に役立っているものである。 (4)単元学習を通して、自己の学習状況の変容を記述する。 【大きな振り返り】	作品の表現意図に応じた形や色の良さを感じ取り、生活の中のピクトグラムの役割を理解することができるようにする。 ・お互いの作品のよさを味わえるように、形と色彩を視点(共通事項)に小グループで交流する場を設定する。 ・課題解決に迫ることができるように、参考作品を示し全体交流をする場を設定する。 ・単元学習の内容を確認するために、文章分析シートを用いて大きな振り返りを行う時間を設定する。	・交流会をもとに友人の作品のよさを味わうことができる。 (鑑：様相観察・学習プリント) ・ピクトグラムの形や色が効果的に使われていることを理解することができる。 (鑑：発表、学習プリント)

6 本時の主眼

- ・お互いの作品の良さをあじわい、情報を伝えるためのピクトグラムは単純化された形や色彩の特徴が効果的に使われていることを理解することができる。

7 振り返り活動を仕組む授業づくりの工夫点

これまでの「小さな振り返り活動」で獲得してきた表現方法や技能及び自分のアイデアをもとに、作品制作を通して情報を伝えるために形や色彩などの効果を生かすことができる。終末段階では、単元学習を通して、自己の学習状況の変容を認識するための文章記述による「大きな振り返り活動」を行う。

8 準備 作品・アイデアスケッチ・学習プリント・付箋(黄・赤)・スライド(参考作品)

9 本時の過程 関心・意欲・態度【関】 発想・構想【発】 技能【技】 鑑賞【鑑】

段階	学習活動・内容	具体的な手立て(支援)	評価の観点(方法)	形態	配時
つかむ	1 前時の学習内容を想起し、本時の学習の見通しを立てる。 (1) 前回までの学習内容(制作)を確認する。 (2) 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 作品の交流会をして、ピクトグラムのよさとその目的や役割を理解しよう。 </div>	○本時の学習の見通しを立てることができるように前時までの学習を振り返る場を設定する。 ○本時の学習の見通しを確認することができるように、学習の流れを確認する場を設定する。		一斉	5
	2 作品の交流会をする。 (1) 交流会の方法を理解する。 (2) 班で交流会をする。 ・作品を発表する。 ・形と色彩について感想を付箋に書く。 (3) 交流会の感想を書く。	○主体的に交流活動に取り組むことができるように、形と色彩の効果(共通事項)を視点に交流させる。 ○交流活動を振り返りやすいように、付箋紙に書いた感想をもとに考えをまとめさせる。	○自分の作品について発表し、他の作品のよさをあじわうことができた。 【鑑】【発】(様相観察・学習プリント)	個 ↓ 小集団 ↓ 個	20
さぐる・深める	3 参考作品をもとにピクトグラムのデザインの効果を考える。 ・見ただけで内容がわかる。 ・誰にでもわかる。(ユニバーサルデザイン) ・災害などの緊急時に役立つ。	○ピクトグラムのデザインの効果を考えやすいように、参考作品の形と色彩(共通事項)をもとに考えさせる。	○情報を伝えるためにピクトグラムの形や色が効果的に使われていることを理解することができた。 【鑑】(様相観察・学習プリント)	一斉	10
	4 本時のまとめを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ピクトグラムは情報を伝えるために視覚的な図(色や形など)で表現したもので、様々な場所(案内図や緊急避難図等)や活動に利用されている。 </div>				15
まとめ・振り返る	5 大きな振り返りを行う。 ・単元の学習を終えての文章を記述する。	○単元全体を通して、何がわかったのか、何ができるようになったのか自己の学習状況の変容を認識できるように、文章分析シートを用いて大きな振り返りを行う場を設定する。		個	